隅田川の水辺を歩きながら四季の草花を楽しむコース

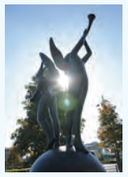
水辺と緑コース

約5.5km
約85分
約255kcal

MAP▶E-4 南千住駅
▼3分 商店街に寄ってみよう！
MAP▶D-4 ドナウ広場
▼18分
2 MAP▶D-7 瑞光橋公園
▼1分
MAP▶D-6 リバーハープコートの仲間たち
▼8分
4 MAP▶F-7 石浜神社
▼3分
5 MAP▶D-8 遊歩道 白鬚橋～水神大橋 15分
▼1分
6 MAP▶C-8 都立汐入公園
▼9分
7 MAP▶B-8 千住汐入大橋
▼10分 べるぽーと汐入商店街
8 MAP▶C-6 胡録神社
▼17分
MAP▶E-4 南千住駅

START 南千住駅

1 ドナウ広場 所在地 MAP▶D-4 南千住 4-1



南千住駅東口に面した広場の愛称名で、荒川区が友好交流都市として提携している、オーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区の名称にちなんでいます。広場には、「ドナウの調べ」と名付けられたブロンズ像が、両区の永遠の友好を願って置かれています。

2 瑞光橋公園 所在地 MAP▶D-7 南千住 8-18-1

鉄道と貨物船を結ぶための運河跡地に造られた公園です。隅田川の入り江を生かし、水辺の生き物などの観察ができます。

3 リバーハープコートの仲間たち

所在地 MAP▶D-6 南千住 3-41

「リバーハープコート南千住」の住宅棟の敷地内に、区内在住の洋画家で荒川区観光大使でもある城戸真亜子氏のオブジェが10作品あります。近くを流れる隅田川やハープをイメージした楽しい作品たちです。

4 石浜神社 所在地 MAP▶F-7 南千住 3-28-58

神亀元年（724）に聖武天皇の命によって創建された神社です。源頼朝が奥州征討に際して祈願し、大勝したことから社殿を寄進しました。蒙古襲来の折にも鎌倉将軍が必勝を祈願したともいわれています。境内には、亀田鵬斎の詩碑や「伊勢物語」の歌碑があります。

また、神社周辺には、室町時代に江戸城を築いた太田道灌にゆかりのある石浜城があったと伝えられています。

5 遊歩道 白鬚橋～水神大橋 所在地 MAP▶D-8 南千住 3-38、3-39、8-16

白鬚橋のたもとから始まるこの遊歩道は、隅田川を一望でき、行き交う船を上から眺めることができます。水神大橋は、名前のとおり水神様に由来し、ブルーのアーチが水神のイメージにぴったりです。全体で約1Km、徒歩15分のコースとなっています。

6 都立汐入公園

所在地 MAP▶C-8 南千住 8-13～16

瑞光橋から水神大橋、そして千住汐入大橋の先まで、隅田川に沿った形で造られた12.9haの公園です。公園の南側は、テニスコート等の運動施設、バーベキューができる広場があり、北側は広い芝生広場を中心に、野外ステージ、展望広場などがあります。隅田川沿いの園路はジョギング・散歩コースにもなっており、東京スカイツリー®を眺めることもできます。

7 千住汐入大橋

所在地 MAP▶B-8 南千住 8-15

汐入地区と足立区千住曙町を結ぶ千住汐入大橋は、平成18年2月に隅田川に架けられた橋です。

8 胡録神社 所在地 MAP▶C-6 南千住 8-5-6

かつては大六天と呼ばれた神社です。江戸時代から明治時代まで汐入周辺で、蛎殻を石臼でひいてつくる、胡粉という白い人形の顔料が盛んに作られていたことから今の名前になったという伝承もあります。永禄4年（1561）の川中島の合戦の折、上杉謙信家臣の高田嘉左衛門らがこの汐入に落ち延びたという話も残っています。

GOAL 南千住駅

かつての宿場町である南千住の歴史と文化にふれるコース

歴史と文化コース

約4.0km
約60kcal
約180kcal

凡例・数値の算出について
…歩行距離
…移動時間
…消費カロリー
時速4km/h
ウォーキング10分＝30kcalで算出
（体重60kg、歩幅70cmの場合）

MAP▶D-4 南千住駅
▼3分 商店街に寄ってみよう！
MAP▶E-4 延命寺・小塚原刑場跡
▼1分 南千住仲通り商店会
2 MAP▶E-4 回向院
▼9分 コツ通り商店会
3 MAP▶C-3 素盞雄神社
▼4分
4 MAP▶B-4 千住大橋
▼6分
5 MAP▶C-3 荒川ふるさと文化館
▼3分
6 MAP▶C-3 旧千住製絨所煉瓦塀
▼6分 間道商興会 南千住六丁目本町会高店会
7 MAP▶D-2 荒川総合スポーツセンター及び周辺
▼8分
8 MAP▶D-2 円通寺
▼5分 ジョイフルニの輪
9 MAP▶E-2 都電三ノ輪橋停留場
▼4分 南千住商友会
10 MAP▶E-2 浄閑寺
▼11分
南千住駅

START 南千住駅

1 延命寺・小塚原刑場跡

所在地 MAP▶E-4 南千住 2-34-5

品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場で、明治時代初めに廃止されるまで磔（はりつけ）・斬首などが執行されていました。「首切地蔵」が、当時ここに眠る人々の霊を静かに見守っています。

2 回向院 所在地 MAP▶E-4 南千住 5-33-13

吉田松陰・橋本左内ら幕末の志士の墓や、鼠小僧次郎吉・片岡直次郎・高橋お伝らの墓があります。杉田玄白や前野良沢らがここでの刑死者の解剖見学をきっかけに「解体新書」を翻訳したことから、近代医学発祥の地として観臓記念碑が建てられました。

3 素盞雄神社 所在地 MAP▶C-3 南千住 6-60-1

荒川区内で最も広い地域の鎮守です。六月の天王祭で三年に一度担がれる千貫宮神輿は、約8mの長柄二本（二天棒）で左右に振りながら担ぐ神輿振り姿が圧巻です。

千住は、芭蕉の「奥の細道」旅立ちの地としても有名です。「千じゆと云所にて船をあがれば前途三千里のおもひ胸にふさがりて幻のちまたに離別の泪をそゝぐ」（【奥の細道】より）芭蕉がこのとき詠んだ「行春や鳥啼魚の目は泪」を刻む文政3年（1820）に建てられた句碑がここにあります。

4 千住大橋 所在地 MAP▶B-4 南千住 6-71 付近

徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。この辺りは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」にも描かれています。

橋は昭和2年（1927）に鉄橋化されました。現存するタイドアーチ橋としては日本最古のものです。

5 荒川ふるさと文化館 所在地 MAP▶C-3 南千住 6-63-1

※入場料100円（中学生以下・65歳以上の区民、障がい者は無料）

荒川区の古代から近現代までの歴史を、出土品や板碑、錦絵等の実物のほか、パネル、模型、復元家屋、芭蕉ゆかりの「奥の細道と千住」コーナー等で展示し、屋外では回向院から寄贈された「橋本左内の墓旧套堂」を復元公開しています。 また、併設の「あらかわ伝統工芸ギャラリー」では工芸品の展示とイベントを開催しています。

荒川区 観光ボランティアガイド

区内の観光スポットや史跡・文化財を案内します。
（原則８名以上）
詳しくは観光振興課までお問い合わせください。
観光振興課 TEL 03-3802-4689

6 旧千住製絨所煉瓦塀

所在地 MAP▶C-3 南千住 6-43 付近

殖産興業をすすめる明治政府が建てた、日本初の官営毛織物工場である千住製絨所の煉瓦塀の一部が残っています。後、陸軍の工場となり、軍服や警察官の制服生地を製造していました。

7 荒川総合スポーツセンター及び周辺

所在地 MAP▶D-2 南千住 6-45-5

かつて「光の球場」と呼ばれた東京球場（東京スタジアム。現・千葉ロッテマリーンズの本拠地）があった場所です。また、周辺には、千住製絨所初代所長井上省三の胸像があります。

8 円通寺

所在地 MAP▶D-2 南千住 1-59-11

慶応4年（1868）の上野戦争後、戦死した彰義隊士を供養したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移設されました。そこに残る弾痕は、戦争の激しさを現在に伝えています。また、天野八郎や榎本武揚ら旧幕臣の墓碑が多数あります。

9 都電三ノ輪橋停留場 所在地 MAP▶E-2 南千住 1-12

早稲田～三ノ輪橋間を運行する「都電荒川線」の始発・終着停留場です。関東の駅100選の一つで、平成19年には昭和30年頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。沿線では、花の時季に「花の観光地づくり大賞」を受賞した約140種のバラが区内4kmにわたって咲き乱れます。

平成30年10月に三ノ輪橋おもいで館が開設。都営交通に関するご案内や都電の定期券、一日券、グッズ販売などを行なっています。定休日は毎週火・水曜日（祝日の場合は営業）です。

10 浄閑寺 所在地 MAP▶E-2 南千住 2-1-12

安政2年（1855）の大地震で犠牲となった、新吉原の遊女達の遺体が投げ込まれたと伝えられ、「投込寺」とも呼ばれる寺です。境内には、当時の悲しい出来事を伝える「新吉原総霊塔」のほか、永井荷風の詩碑もあります。

GOAL 南千住駅

観光アプリ

区内の観光スポットや日暮里地域の浮世絵マップをスマホでご覧いただけます。
こちらのQRコードからダウンロードできます。
※利用料無料
（通信費別途）

日本語

荒川区南千住 まちあるきマップ

JR 貨物隅田川駅

延命寺・小塚原刑場跡

素盞雄神社

都立汐入公園

都電荒川線三ノ輪橋停留場

南千住は江戸から日光へ通じる日光道中最初の宿場町として、また、水陸の交通の拠点として栄えてきました。現在では、これらの歴史の跡が残る西側地域と、再開発により大規模なまちづくりが進む東側の汐入地区と、異なる表情を楽しむことができます。

荒川区 産業経済部 観光振興課
TEL:03-3802-4689
荒川区ホームページ https://www.city.arakawa.tokyo.jp/
荒川区Twitter @arakawakukoho

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。